

独立行政法人日本万国博覧会記念機構

－ 歴史的経緯について －

平成20年9月10日
財 務 省

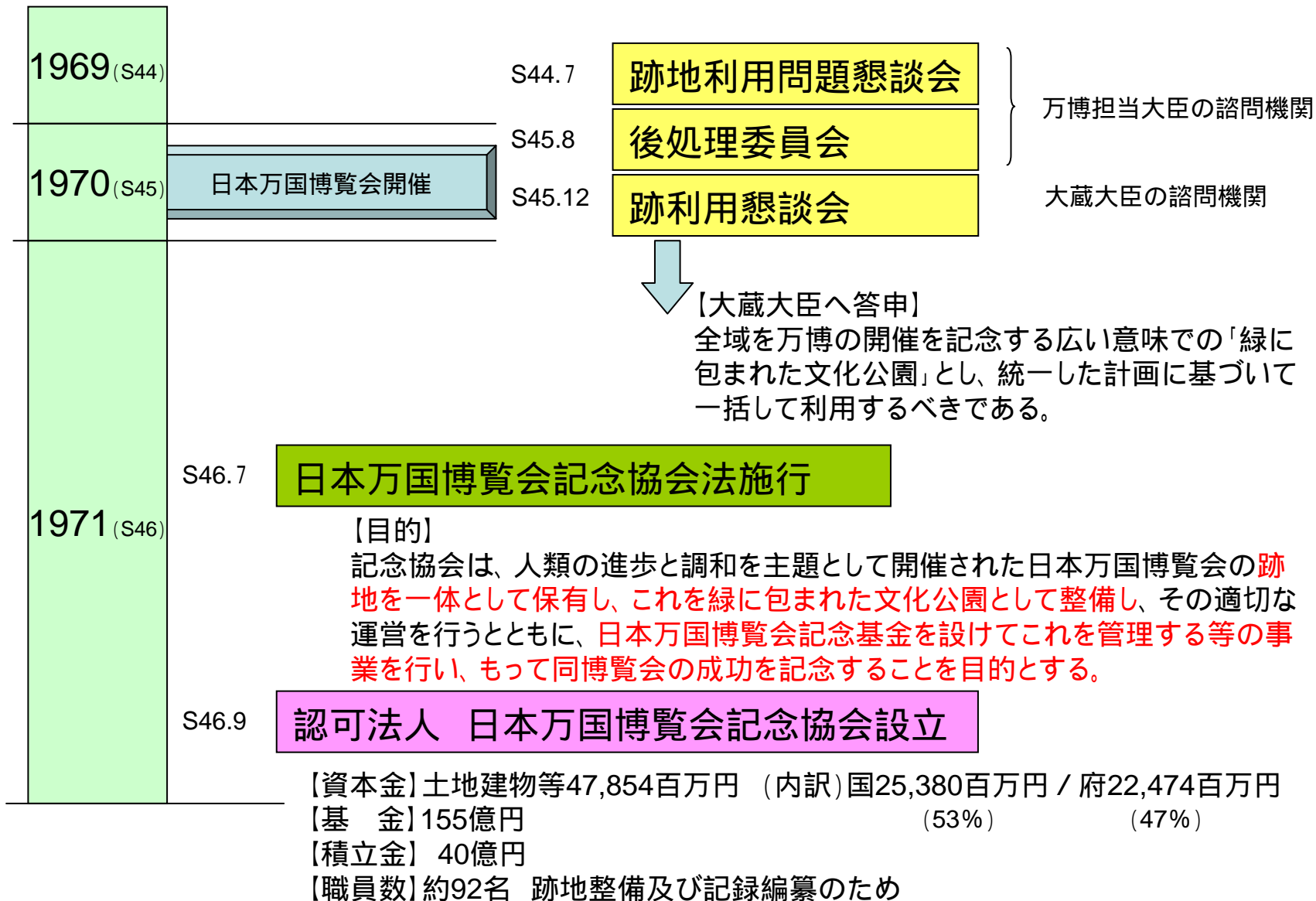
日本万国博覧会

- アジアで初めて開催された一般博
- テーマ:「人類の進歩と調和」
- 会場:330ha
- 会期:1970年3月15日～9月13日183日間
- 参加国数:77カ国(海外76カ国)
- 参加団体数:海外92 / 国内32 合計124
- パビリオン数:116館
- 入場者数:64,218,770人
- 収益金:約195億円
- 運営主体:(財)日本万国博覧会協会



予算規模:会場建設費 + 運営費 + 政府・国内外参加者出展費 + 関連公共事業費 = 8,272億円
用地取得区分:国有地33ha(大阪大学)、大阪府保有地85ha、民有地212ha、計330ha

日本万国博覧会記念協会の設立



(独)日本万国博覧会記念機構の設立

設立

平成15年10月設立

独立行政法人日本万国博覧会記念機構法に基づく

記念協会の一切の権利義務を継承し設立

出資金等〔平成20年3月末現在〕

【出資金】 約1,220億円(内訳)国53% / 府47%

【基金】 約185億円

第2期中期目標 期間 平成20年4月1日～平成23年3月31日(3年)

基本方針

日本万国博覧会の成功を記念し、また、現代の重要課題の一つである環境問題の解決に寄与するため、以下の取組みを行なう。

- ・公園事業:自立した森の再生等の事業を推進。国民生活の向上に貢献。
- ・基金事業:公園事業との連携を深め、日本万国博覧会の理念と資産の承継・発展に取り組む。
- ・健全な経営のもと、独立採算を堅持。

業務運営の効率化

- ・一般管理費(総人件費を除く)を4%以上削減。給与水準適正化等のため、総人件費の削減を引続き実施。
- ・民間開放業務の拡大、未利用地の有効活用

業務質の向上

- ・公園事業:利用者ニーズの把握と、これに基づく質の高いサービスの提供。
- ・基金事業:環境・公園に関する事業へ重点化。公園事業への繰入れの拡大。

業務運営に関する重要事項

- ・公園内の施設の管理方法、委託契約の内容等について、安全に配慮する観点から必要な見直しを行い、取組状況を公表。